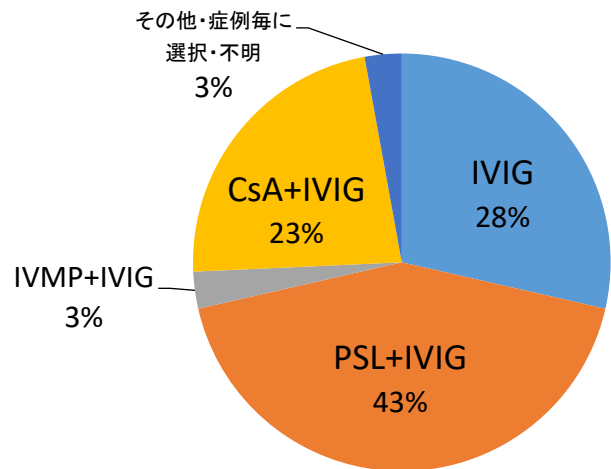
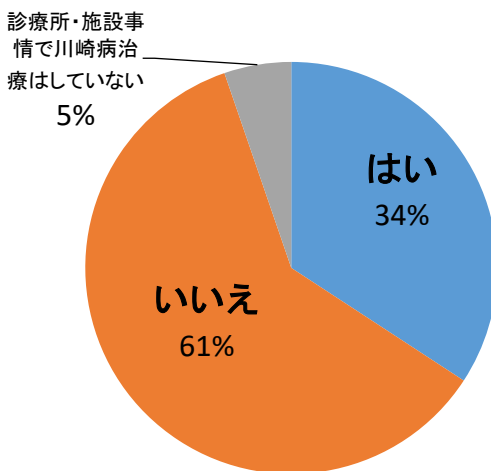


『免疫グロブリン製剤の供給不足に直面した時の対応とそれをふまえた治療戦略の再考』

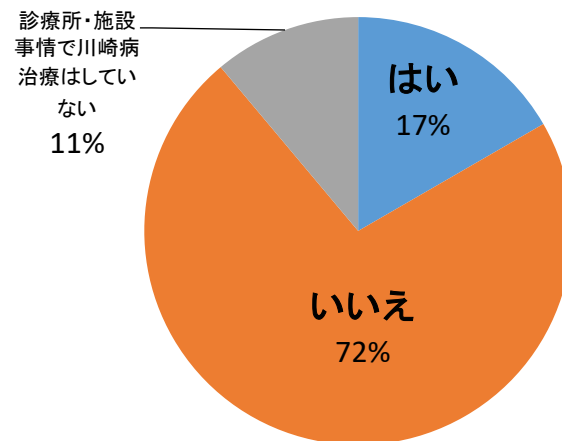
自施設(入院施設でない場合は主な紹介先)での不応予測スコアが高い場合の初回治療の選択



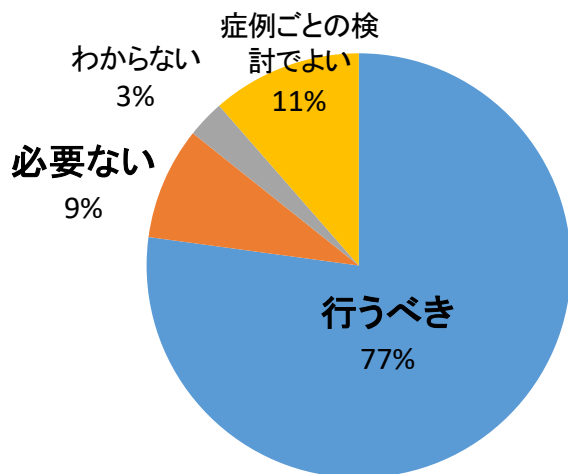
免疫グロブリン(IG)製剤が使えずに転院での治療を依頼した、もしくは受け入れたことがある



IG製剤供給不足を危惧して、すでに治療プロトコルの変更(強化治療の対象拡大や追加治療のみの変更も含む)を行った



不応予測スコアが高い場合に、何らかの初期併用療法を行うべきか



不応予測スコアが低い症例への初期併用療法の対象拡大(例: 小林スコア4点以上、3点以上、あるいは全例対象など)について

